事務事業名		市税・国保徴収事業		所属部	市民環境部	所属課	債権管理対策課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	債権管理G	課長名	佐藤 博之	
	施策名	〈08〉健全財政の維持		担当者名	吾郷 友美	電話番号	0854-40-1035 (内線) 2221	
	目的対象	市の財政	意図	健全に運営する。				
	基本事業	〈023〉積極的な財源確保		予算科目	0:110:0:1 1:010:0:4	大事業名	賦課徴収事業	
目的対象	予算	意図	財源を確保する。				中事業名	徴収事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
納税義務者	円滑な収納を図る。 収納情報の適切な管理を図る。 市税等の納期限納付を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	①市税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、保育所保育料、認定こども園保育料、住宅使用料、学校給食費、老人保護措置費用徴収金、農業労働災害共済金、道路等占用料、教職員住宅使用料の収納業務(口座振替、消込) ②市税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の督促状発送
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 市税等の口座振替処理(月末・再振替) 督促状の発送	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 納付方法については口座振替が定着化している。また、今年度から地方税共通納税システムによる電子納税の対象税目に固定資産税・軽自動車税が加わり、eL-QR(QRコード)を利用した納付も拡大した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 口座振替実件数	件	151,236	150,099	145,998	144,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
収納経費	989千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
旅費燃料費	106千円		県支出金	千円				
督促状送料	879千円		地方債	千円				
調査手数料	887千円		その他	千円	412	425	444	400
滞納システム経費	8,059千円		一般財源	千円	8,537	11,954	10,740	10,799
一般事務費	264千円		事業費計	千円	8,949	12,379	11,184	11,199
	11,184千円							

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	口座振替の推進を図る一方で、連続して振替が不能となる口座の整理を行った。納税義務者から申し出のあった振替口座が有効となるよう対応することが、納付環境の再確認の機会を設けることにつながった。
② 事業実施するうえでの課題	口座振替による納付が、便利で確実であり、広報等の啓発により口座振替対象者が増加し収納率も向上すると想定される。 また、納付方法が増えることは、納付の機会を設ける点において利便性が向上する一方で、それに伴う経費、対応処理も増加する。
③ 課題解決に向けた改革改善等	口座振替の推進と振替率の向上。 口座振替開始通知発送による過誤納防止。 納税意識の高揚と啓発を図る。 地方税共通納税システムの広報、周知。